

# 遷喬小だより 11月号

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬  
 ～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

## 遷喬小ならではの 地域に根ざした学び

遷喬小学校では、保護者・地域の皆様のお借りした学習が数多く展開されており、子どもたちは充実した学びを進めることができます。

お忙しい中、多くの方々が学校に足を運んでくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

生活・総合学習等において、ゲストティーチャーやボランティアの皆様のご協力を得て、遷喬ならではの学びが展開されています。今週末の学習発表会においてもその一端をお見せすることができますと思います。

### Open space を生かす（共育） 内に外に開く教育活動

「教科・教材」の壁を拓く（響育） 生活科、総合的な学習を中心としたダイナミックな学習展開の創意工夫

「探究的学習」による創造性の向上・「協働的な学び」による主体性の向上

「学校・地域」の壁を拓く（郷育） 地域人材の活用による教育活動 ボランティアスタッフによる学習支援

「地域力活用」による学校力の向上



6年総合 修学旅行アドバイス



6年総合 修学旅行プレゼン

6年：中芝さんにアドバイスをもらいながら修学旅行企画に取り組みました。



5年総合 竹細工



5年総合 銭太鼓

5年：真庭の誇れる物を学んでいます。平松さん（竹細工）、安東さん（銭太鼓）大岩さん（SDGs）、他多くの方にお世話になっています。



5年総合 SDGs、バイオマス



4年総合 車椅子体験



4年総合 手話教室

4年：車椅子、手話体験等を通して福祉について学んでいます。

4年：松坂内科の松坂先生や熊野神社禰宜の須田さんから久世地域の伝統を学びました。



4年社会 ロマネスク遷喬（旧遷喬）



4年社会 久世神社・久世祭り



3年社会 イズミゆめタウン



3年社会 イズミゆめタウン

3年：社会科見学  
お店のバックヤードの秘密をしっかりと見てきました。

本校では、オープンスペースを生かした共育、地域に密着した郷育に積極的に取り組んでいます。また、来年度からのコミュニティスクール導入にスムーズに移行できる素地ができていると思っています。

◆「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」とは

学校と地域がパートナーとして連携・協働するために、学校は「地域に開かれた学校」から一步踏み出し、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」へと転換していく必要があります。地域学校協働本部がコミュニティ・スクールとともに活動を推進することにより、学校教育を含めた子供たちの教育の質をより向上させることも期待できます。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民や保護者等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換するための仕組みです。この制度を導入することにより、地域の声を学校運営に生かし、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていくことができます。

※学校評議員会、PTA 運営委員会等で来年度からのコミュニティスクール導入準備を進めていきます。

## 作品応募

- 税に関する絵はがきコンクール

租税教育推進優秀校賞	遷喬小学校
税務署長賞	6年 森脇 維香
審査員特別賞	6年 松田 莉恵
優秀賞	6年 阿部 友香
優秀賞	6年 清水 ほのか
- 真庭市人権作品ポスター

最優秀賞	4年 櫻井 莉心
奨励賞	2年 近藤 詩織
	5年 入江 俊成
- 消防ポスターコンクール

県消防協会長賞	2年 河野 佑哉
県設備協会長賞	2年 下村 菜緒
入賞	6年 後安 真之介

思いを込めて作りあげた作品です。努力が認められてよかったですね。